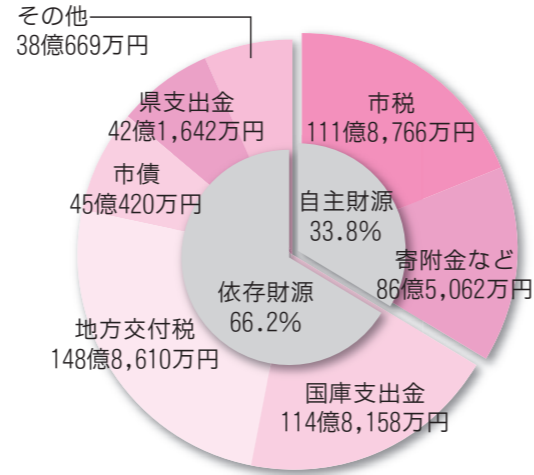


歳入 587億3,327万円

項目	3年度	構成比	増減額	増減率
市税	111億8,766	19.0%	△2億768	△1.8%
寄付金	44億559	7.5%	14億3,237	48.2%
繰入金	5億2,835	0.9%	△8億9,911	△63.0%
繰越金	15億8,878	2.7%	1億6,959	11.9%
諸収入	7億8,240	1.3%	△1億2,924	△14.2%
分担金及び負担金	6億3,217	1.1%	△2,984	△4.5%
使用料及び手数料	5億5,894	1.0%	△1,327	△2.3%
財産収入	1億5,439	0.3%	△2億7,769	△64.3%
小計	198億3,828	33.8%	4,513	0.2%
国庫支出金	114億8,158	19.5%	△61億6,678	△34.9%
地方交付税	148億8,610	25.3%	9億2,626	6.6%
市債	45億420	7.7%	△6億280	△11.8%
県支出金	42億1,642	7.2%	△1億5,217	△3.5%
地方消費税交付金	22億7,153	3.9%	8,030	3.7%
地方譲与税	9億76	1.5%	3,940	4.6%
地方特例交付金	3億8,778	0.7%	2億9,356	311.6%
法人事業税交付金	1億864	0.2%	5,764	113.0%
環境性能割交付金	3,918	0.1%	△67	△1.7%
株式等譲渡所得割交付金	3,365	0.1%	1,095	48.2%
配当割交付金	2,892	0.0%	943	48.5%
交通安全対策特別交付金	1,497	0.0%	△9	△0.6%
ゴルフ場利用税交付金	1,546	0.0%	281	22.2%
利子割交付金	580	0.0%	△137	△19.1%
小計	388億9,499	66.2%	△55億353	△12.4%
合計	587億3,327	100.0%	△54億5,840	△8.5%

※端数処理の関係で構成比の計は各項目の積み上げと一致しない場合があります



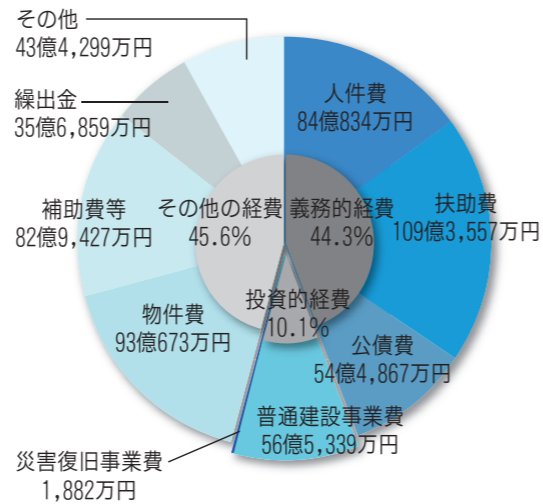
▶ **自主財源・依存財源** / 市税や施設使用料など、市が自らの収入とすることができる財源が「自主財源」。地方交付税、国庫・県支出金など、国や県から交付される財源と借入金が「依存財源」。▶ **地方交付税** / 市の行政需要と財政力に応じて、国から交付されるお金▶ **国庫支出金・県支出金** / 事業の財源として使い道が特定された、国や県から交付されるお金▶ **市債** / 事業を行うために、市が国や金融機関から借りるお金



歳出 559億7,737万円

項目	3年度	構成比	増減額	増減率
人件費	84億834	15.0%	7,644	0.9%
扶助費	109億3,557	19.5%	20億4,393	23.0%
公債費	54億4,867	9.7%	1億6,602	3.1%
元金	52億5,110	9.4%	2億54	3.9%
利子	1億9,757	0.3%	△3,452	△14.8%
小計	247億9,258	44.3%	22億8,639	10.2%
普通建設事業費	56億5,339	10.0%	△8億1,140	△12.6%
災害復旧事業費	1,882	0.1%	△3,405	△64.4%
小計	56億7,222	10.1%	△8億4,544	△13.0%
物件費	93億673	16.6%	13億8,659	17.5%
補助費等	82億9,427	14.8%	△86億8,693	△51.2%
繰出金	35億6,859	6.4%	1億103	2.9%
積立金	18億8,141	3.4%	△6億2,315	△24.9%
維持補修費	13億9,967	2.5%	△2,917	△2.0%
投資及び出資貸付金	10億6,191	1.9%	△2億1,483	△16.8%
小計	255億1,257	45.6%	△80億6,647	△24.0%
合計	559億7,737	100.0%	△66億2,552	△10.6%

※端数処理の関係で構成比の計は各項目の積み上げと一致しない場合があります



▶ **義務的経費** / 人件費など、支出することが制度的に義務付けられている経費▶ **投資的経費** / 道路や学校の建設事業費など、将来的に残るものに対する経費▶ **扶助費** / 児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などへの支援に要する経費▶ **公債費** / 過去に借りたお金を返すための経費▶ **補助費等** / 事務組合や各種公益団体に対する補助金などの経費▶ **物件費** / 施設の光熱水費や各種委託料などの経費▶ **繰出金** / 一般会計から国民健康保険特別会計などの特別会計へ支出する経費



本市の令和3年度の決算が9月定例議会で承認されました。昨年度はどれくらいの収入があって、どのような目的に使われたのか、令和3年度の決算の概要と財政状況をお知らせします。

【問い合わせ】本館財政課(☎41-3517)

一般会計 ～令和3年度の実質収支は21億877万円の黒字です～

令和3年度に一般会計に入ったお金(歳入)は587億3,327万円。この中から使ったお金(歳出)は559億7,737万円。差し引き額(形式収支)は27億5,590万円の黒字です。そこから翌年度に繰り越すお金である6億4,713万円を差し引いた額(実質収支)は21億877万円の黒字になりました。

■歳入を前年度と比較すると

自主財源の代表的なものである市税は2億767万円(1.8%)減少。自主財源全体では、寄付金の増加などにより4,513万円(0.2%)増加しました。依存財源の代表的なものである地方交付税は9億2,626万円(6.6%)増加しましたが、依存財源全体では国庫支出金の減少などにより55億

353万円(12.4%)減少。歳入全体では、54億5,840万円(8.5%)減少しました。

■歳出を性質別で前年度と比較すると

義務的経費は、子育て世帯臨時特別給付金や住民税非課税世帯等臨時特別給付金などによる扶助費の増加により22億8,639万円(10.2%)増加。投資的経費は、道の駅「はなまき西南」整備事業の完了などに伴う普通建設事業費の減少により、8億4,544万円(13.0%)減少しました。その他の経費は、特別定額給付金(住民1人当たり10万円を支給)の終了などにより、80億6,647万円(24.0%)減少しました。歳出全体では66億2,553万円(10.6%)減少しました。

令和3年度の主な事業 (単位:万円)

分野	事業名	決算額	事業概要
文化	道の駅「石鳥谷」施設再編事業	1億1,560 (2,794)	道の駅「石鳥谷」の魅力や利便性の向上を図るため、酒匠館内装などの改修や広場などの工事、りんどう亭食堂の空調設備の改修などを進めました。
	産業団地整備事業	1億272	市独自の新たな産業用地の整備に向け、花南産業団地の基本設計や埋蔵文化財の試掘調査をはじめとする各種調査を実施しました。
暮らし	花巻スマートインターチェンジ整備事業	1億3,424 (1億1,407)	高速道路の利便性の向上を目的として、東北縦貫自動車道花巻パーキングエリアにスマートインターチェンジを整備するため、用地取得、移転補償を実施するとともに工事に着手しました。
	公共交通確保対策事業	1億6,769	快適で利便かつ持続可能な公共交通サービスを提供するため、路線バスへの補助や予約応答型乗合交通の利用促進を図るとともに、交通結節点であるイトーヨーカドーバスターミナルにバス待合所を整備しました。
人・まち	放課後児童支援事業	2億8,171	児童の健全育成を図るため、学童クラブを運営し、保育料については、新たに減免基準を拡充し保護者の負担軽減を図りました。
	学童クラブ施設整備事業	2億2,380	若葉小学校区内の花巻学童クラブとひまわり学童クラブを統合し、新設されたわかば学童クラブの施設整備を行いました。
	保育施設環境整備支援事業	3,096	適正な保育環境整備を支援するため、幼保連携型認定こども園へ移行する保育園の施設整備費への補助を行いました。
まち	はなまき夢応援奨学金事業	368	返還免除型の奨学金制度「はなまき夢応援奨学金」について、自立の支援と卒業後の市内居住の促進を図るため、制度の見直しによる拡充を行いました。
	定住促進事業	6,297	子育て世帯や移住希望者の市内における住宅取得などを支援するため、奨励金や補助金を交付しました。
地域	婚活支援団体育成事業	717	市内の結婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップに係る費用を支援し、移住定住の促進を図りました。

※決算額のうちカッコ書きの数値は、前年度予算から繰り越された事業の決算額です